

平成17年度岩手県工業技術研究推進会議
議 事 録

(実施日)

平成17年10月20日(木)

(テーマ名)

トリアジンチオール有機ナノ薄膜の高機能発現研究開発(事前評価)

委員	質 問・意 見	回 答
F委員	開発当初に参加していたA社が、H17年度からS社として技術移転企業になっているが、その経緯は？	[発表者] 当初、本事業に参加していたA社は、都合により開発を断念した。A社のユーザーであるS社は、本成果の実用化を望んでいたことから、H17から直接共同研究することとなった。
	S社との特許の実施権についてはどう処理しているのか？	[発表者] 特許は岩手県単独出願である。実施権は処理メーカーと契約予定で、S社はそのユーザーとなる。
B委員	バックアップ材にトリアジンをつけているのか？	[発表者] 電鍍ニッケルの方にトリアジン処理を行なっている。
	エポキシ樹脂と金属粉末を混合するときトリアジンを使うのか？	[発表者] そのとおり。金属粉末とエポキシ樹脂のバインダーとしても使用している。バインダーとしてはシランカップリング剤も有効である。
	バックアップ材を流し込む温度は？	[発表者] 40～60 である。
	通常の精密金型に比べ電鍍金型の製作コストは？	[発表者] 金属粉末強化樹脂がキロ5千円位で、電鍍金型は2日で製作でき、人件費等含めても精密金型に比べ1/2である。
	何ショットまで使用できるのか？	[発表者] 小さい方は1千ショット、大きい方は3万ショットまで確認している。
	バックアップ材により金型の精度は違うのか？	[発表者] 樹脂の方が精度が高く小さいものに適しており、コンクリートは安価であることから大型の金型に適している。
A委員	リユース技術は湿式膜にも可能か？	[発表者] 湿式でも対応できる。
	リユースできる金型の大きさは？	[発表者] 装置の大きさに依存するが、30cm角の大きさまで実績がある。
	リユースの処理コストは？	[発表者] 設備投資が必要だが、ランニングコストは低い。
B委員	離型技術は鋳造に利用できるか？	[発表者] 有機膜の耐熱温度は300 前後なので鋳型には使用できない。